

まきびと

2021年 社会福祉法人
クリスマス号 牧人會

961-8061 福島県西白河郡西郷村 TEL 0248-25-2046
小田倉字上上野原 158番地1 FAX 0248-25-3776
振替口座 02160-6-244

クリスマスを迎えるとき、当会の活動と事業計画をご支援ください。



写真説明 ■左上 コロナ禍環境下、再開されたキリスト教会の「こどもの礼拝」に出席する白河めぐみ学園児童。教会員との交流も児童の大きな喜びです。■右上 工事中のあだたら育成園「あだたら棟」(旧園舎)の改修事業。当会の社会福祉充実計画で予定されていた利用者の居住生活環境改善事業の一環として実施。クリスマス前に竣工予定です。■左下 建物、用地が当会の所有に移管され、児童発達支援センターに改修する元塙町立「塙保育園」園舎。開設後の多様な専門的療育支援サービスの提供が期待されています。■右下 全国的な新型コロナ感染関連の規制緩和後に開催された「栄光まきびと園」の秋のお楽しみ運動会。晩秋の日の親子のうれしい1日でした。

感染症対策を最重視して、地域社会に貢献する福祉支援サービス提供を拡充・推進していきます。

理事長 山下 勝弘

クリスマスの挨拶と共に、当会の今年度の活動と事業計画を報告いたします。

当会は現在、主に知的障がいのある幼児から高齢者までを対象に15種別65事業の福祉支援活動を、福島県、山形県、宮城県3県内の11市町村で実施しています。

2021年度も、依然として2011年の原発事故による放射能被爆、また2019年に台風19号被害、さらに2020年度以降は新型コロナ禍が深刻化したこの地域で、地域社会に貢献できる福祉サービス提供を可能にする以下の活動と事業計画を継続して推進しています。

1、感染症対策を強化し、求められる福祉支援サービス提供の実践と充実

相談支援サービス利用者を除く直接福祉サービス受益利用者数は、児童と成人合計で620名になります。

これらの利用者はじめ地域社会で求められている福祉支援サービス提供の実践と充実を目標に、新型コロナ、インフルエンザ感染対策を最重視しそれぞれの福祉現場で、職員が誠実に働きに参加しています。

2、地域社会の福祉的需要に応える社会福祉充実計画の実施

地域社会の福祉的需要に応えるために、当会では社会福祉充実計画を策定し、今年度は地域社会から強い要望のある「児童発達支援センター」新設整備活動を福島県東白川郡地域で開始し

すでに具体的な整備用地を確保しています。また利用者の生活環境を改善する設備整備と建物の改修、地域生活を支援する相談支援事業等の拡充計画を具体的に実施しています。

3、キリスト教会と連帯した地域に貢献する福祉活動の推進

今年度も、キリスト教会と連帯して、地域社会に生活する人々と共生する福祉活動に積極的に参加しています。

閉園するキリスト教会付属幼稚園の働きを継承し、宮城県石巻市に開設した「栄光まきびと園」は、幼児療育施設として、着実に地域社会の信頼に応え、利用希望幼児が増加しています。

クリスマスを迎えるとき、ご理解とご支援を心からお願いいたします。

2021年のクリスマス、また2022年を迎える時、心からの感謝をこめて当会の活動と事業計画内容を報告し、みなさまに一層のご理解とご支援をお願いいたします。

児童発達支援センター新設事業実施へ具体的に前進 幼児への専門的療育支援の拠点施設 ■ 必要地域に今後も開設準備を計画

当会では社会福祉充実計画事業として、地域社会から強く要望されていた福島県東白川郡塙町に「児童発達支援センター」新設事業を計画してきました。この地域で当会は、すでに発達支援事業として塙町に「すぎのこ園」、棚倉町に「なかよし園」を開設しています。しかしより専門的療育支援を可能にする「児童発達支援センター」の開設が以前から強く要望されていました。

当会は塙町の配慮により塙町役場に隣接する元町立「塙保育園」(園舎鉄骨コンクリート造 758㎡、＜無償＞、土地 4138㎡＜町有地及び民有地 有償＞)の譲渡を受け、上記園舎を改修整備して児童発達支援センター新設事業計画をすすめてきました。

2021年11月に当会への上記元塙保育園園舎及び用地の所有権移転手続きが完了したことを受けて、児童発達支援センター新設事業が具体的に進展し、早期事業開始を目標に2021年度から2022年度にかけて改修整備事業を実施します。



当会が運営する幼児療育施設 ■ さらに必要な地域に開設を予定 ■

当会では、福島県、山形県、宮城県内の8市町村に学齢前幼児へ療育支援サービスを提供する児童発達支援事業を8施設設置し運営しています。

福島県内では児童発達支援センター「ま



きびと」(西郷村)、発達支援センター「みなみあいづ」(南会津町)、同「すぎのこ園」(塙町)、同「たなぐら」(棚倉町)、同「いずみざき」(泉崎村)、同「あだたら」(二本松市)です。山形県では児童発達支援センター「山形ひかり学園」(上市市)、宮城県では発達支援センター「栄光まきびと園」(石巻市)です。

これらの福祉施設の中で児童発達支援センターは、特に専門的療育支援を提供する地域の拠点施設で、各地域内で生活する就学前幼児の成長発達を保育園、幼稚園、認定こども園と連携して支援する重要な役割を担っています。当会では、今後も地域社会の要望に応じて設置する準備をしています。

センター開設■相談支援事業の連携強化

当会は福島県と山形県の6地域で相談支援事業を実施しています。4地域で事業を実施している福島県関係では、このたび「センター」(写真下)を福島県西郷村に開設して、相互に連携し、機能を統合化して多様な相談に迅速に対応する体制を強化しました。



は4,882,056円で、これは個人会員と団体会員を合わせて501会員のみなさまが協力してくださった結果です。この納入された会費から、3,500,000円を2020年度の助成金として、社会福祉法人牧人会へ捧げました。

2020年度は特に、新型コロナ禍環境に対応して社会福祉法人牧人会が計画した関係福祉施設の空調設備更新整備、新規事業調査活動を中心に支援をしました。2021年度も、引き続きみなさまのご理解、ご加勢と共に、いっそうの後援会活動へのご参加とご支援を、クリスマスを迎える時、心からお願いいたします。(協賛広告)

牧人会後援会にご参加ください

感謝と報告

後援会会長 定家 修身

牧人会後援会は1971(昭和46)年に社会福祉法人牧人会設立とともに正式に活動を開始し、社会福祉法人牧人会の強力な協力支援団体として、現在にいたっています。

その主要な支援活動の目的と内容は、社会福祉法人牧人会に連帯し、理解し、協力するとともに、これを財政的に支援することです。

2020年度に牧人会後援会へ納入された会員の会費総額



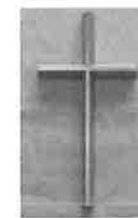
感染症・災害予防対策を総合的に強化 防災避難訓練内容も多様化して実施

当会が運営するすべての福祉施設では新型コロナウイルス及びインフルエンザ等の感染症対策とともに、火災、水害、地震、放射能等のすべての防災対策を総合的に強化しています。

通常月に1回実施される避難訓練も、さまざまな条件設定に基づいて実施しています。各地の消防署関係者の協力をえて実施される防災訓練も、今年度は新型コロナウイルス禍環境下の新しい日常生活様式と利用者の実態を配慮し尊重した内容で、それぞれの福祉現場で実施しています。

11月に実施した白河めぐみ学園・白河こひつじ学園・児童発達支援センターまきびとの火災を想定した合同避難訓練は予想以上の好結果でした。(写真上)

教会で、家庭で、幼稚園・保育園で 当会の木工授産製品を、ご利用ください



当会の関係福祉施設のユニークな製品に、木工製品があります。これらの製品は、仙台市にある日本キリスト教団東北教区センター「エマオ」でも、常設展示されています。

木工製品は、各種「十字架」を始めとするキリスト教会用家具、用品、高品質の各種積木、木製玩具その他木馬、幼児



用机・椅子、福祉施設用家具などが中心です。

詳細は当会のホーム・ページをご参照ください。ぜひご用命、ご利用ください。

写真左上「十字架」。写真上 長期間のベストセラー製品の「各種保育園・幼稚園児用テーブル・椅子」。その他「木製積木」「木製玩具」等も、当会のホームページ「製品案内」をご覧ください。お待ちしております。

白河めぐみ学園
Tel 0248-25-2046

白河こひつじ学園
Tel 0248-25-2055

あだたら育成園
Tel 0243-48-3111

須賀川共育育成園
Tel 0248-76-4155

あだち共育育成園
Tel 0243-48-3113

はなわ育成園
Tel 0247-43-3891

山形ひかり学園
Tel 023-672-2377

寒河江共育育成園
Tel 0237-86-7625

山形育成園
Tel 023-673-2575

すぎのこ園
Tel 0247-43-4391

児童発達支援センターまきびと
Tel 0248-25-0869

泉崎村障がい者支援センター
Tel 0248-53-3618

発達支援センターあだたら
Tel 0243-22-2800

相談支援センターこひつじ
Tel 0248-25-2055

まきびとの家
Tel 0248-25-2046